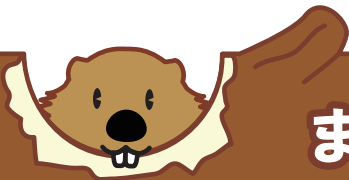


発見!!



まちの EAGER BEAVER

市ゆかりのイーガービーバー（熱心ながんばりやさん）を紹介します。



映画「シン・ゴジラ」などの製作に参加

上西 琢也さん (39) CG ディレクター

米アカデミー賞視覚効果賞に輝いた映画「ゴジラ -1.0」のVFX（視覚効果）を手掛けた映像制作会社「白組」で、気鋭のCGディレクターとして活躍の場を広げています。

新居浜西高を卒業し、関西の美術大で彫刻に打ち込みました。帰郷後は市役所で働いていたものの、映像の仕事への思いが強くなり、お金をためて上京。専門学校でCGやVFXを学びました。2013年、白組に入社。「シン・ゴジラ」「ゴジラ -1.0」など数々の話題作に携わってきました。

原点は、幼い頃に出合ったゴジラ。大好きだった「平成VSシリーズ」をはじめ、新旧シリーズは全制覇しました。その愛は深く、ゴジラが自分にとっての「価値観」と語るほど。近年は、脚本・監督・VFXを務めた短編映画「ゴジラ VS メガロ」(YouTubeで公開中)も話題に。思い入れのあるゴジラを映像化する上では、「小さい時に見たイメージを大事にしながら、仕事で培った技術力を入れ込むこと」を意識したそうです。

さまざまな経験を経て、つかんだ夢。古里の子どもたちに「やりたいことはやってみて。好きなことを発信していれば、そんな人材を探している人が意外にいる」とエールを送りました。



あかがねミュージアムでトークショーを行った上西さん



サインをプレゼントするため、来場者とじゃんけん対決



日本選手権での戦いを振り返った藤田さん



6月に開催された県総体での競技の様子

水泳の日本選手権で初の予選突破！

藤田 真央さん (17) 新居浜南高校3年

国内最高峰とされる「日本選手権水泳競技大会」に3回目の出場を果たし、女子200m個人メドレーで自己最高の14位に食い込みました。日本のトップレベルの選手が集結する大舞台。やり切った達成感を口にする一方で、「自己ベスト更新には届かなかった」と悔しさものぞかせます。

きょうだいの影響で、4歳の時に競技をスタートしました。以来、水泳一筋。週6日の鍛練を続け、日々技術に磨きをかけています。

個人メドレーは、バタフライ・背泳ぎ・平泳ぎ・自由形の4つの泳法を一人で順番に泳ぐ種目。大会では、4泳法をバランスよく泳ぎこなす力、最後まで粘り強く戦い抜く持久力という強みを生かし、初めての予選突破につなげました。

以前は試合前、周囲の選手やタイムのことばかり気にしていました。しかし、それでは結果につながらないと気づき、「自分が水泳を心から楽しむこと」に気持ちを切り替えました。

目標は、全国大会での優勝。今は高校最後の総体に全力を注いでいます。県予選では2種目を制覇。全国大会（インターハイ）での日本一に向け、さらなる情熱を燃やしています。